

弥富市事務事業評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	30	3	事務事業名	障がい福祉事務		細事務事業名	心身障がい者福祉タクシー助成事業		公的関与	1	シート作成日	平成29年6月1日			
	課名	福祉課		グループ	障害福祉		担当課長名	山下正巳		シート作成者名	藤井清和					
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画	事業の開始・終了								
		施策項目	障がい者支援の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	昭和	63 年度	～	平成	年度	<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策	生活支援の充実				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等								
	個別計画															
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)										
		障がい者手帳を所持する方で、次のいずれかに該当する方 (1)身体障がい者手帳1級～3級の方 (2)療育手帳A、B判定の方 (3)精神障がい者保健福祉手帳1級、2級の方				障がい児・者が日常生活における屋外での移動及び活動を容易にし、社会参加を促進します。										
事業の内容	<p>心身に障がいをお持ちの方で、対象者に該当する方がタクシーを利用される場合、その料金の一部を助成します。 (施設入所されている方、自動車税または軽自動車税の減免を受けている方は対象外)</p> <p>▼利用券の交付枚数 年間48枚 ▼助成額等 (1)一般タクシーを利用の場合・・・1回の乗車につき2枚まで利用可能 1枚目 基本料金(障がい者割引を控除した額)及び迎車回送料金 2枚目 基本料金(障がい者割引を控除した額)相当分以内 (2)リフト付きタクシー等を利用の場合・・・1回の乗車につき1枚利用可能 (ア)車椅子で利用の場合 1,500円 (イ)ストレッチャーで利用の場合 2,000円</p>															
成果指標	①	指標名	障がい者福祉施策の充実に関する市民の満足度				②	指標名								
		指標設定の考え方	市民アンケート調査による調査					単位	評価点	単位						
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度		平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度						
		実績	実績	目標	0.11	目標		0.12	実績	実績	目標	目標				
		目標	0.09	目標	0.10	目標			目標	目標	目標	目標				
		実績		実績		目標			実績		目標	目標				
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費			
	直接事業費	平成 27 年度決算額				平成 28 年度決算額				平成 29 年度予算額						
		国・県支出金	千円				千円				千円					
		地方債	千円				千円				千円					
		その他特定財源	千円				千円				千円					
		一般財源	6,336 千円				6,186 千円				6,870 千円					
	計(A)	6,336 千円				6,186 千円				6,870 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.269 人				0.161 人				0.161 人					
		臨時職員工数・経費	0.139 人				0.139 人				0.139 人					
		全体事業費(A+B)	8,415 千円				7,519 千円				8,203 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	はい	いいえ		はい	いいえ	
CHECK	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	障がい児・者の日常生活における活動を容易にするための重要な事業であり、欠かせない事業です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
CHECK	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	障がい児・者の生活を維持、向上させるためには、外出支援策の一環として必要なサービスです。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
CHECK	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	障がい児・者からは、大変喜ばれており、目標は概ね達成しています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している					
CHECK	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	重度障がい者が、バスや電車等の公共交通機関を利用して外出することは困難であり、交通手段としての役割は非常に大きいと考えます。年度途中での申請に対する交付について検討が必要と考えます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	毎月、タクシー会社から送られてくる使用済みのタクシー券の番号管理にかなりの時間を要しますので、番号管理の方法の検討が必要です。また、タクシー券を紛失した場合の再発行について、要望があがっています。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
	課題解決のための改善計画	事務の効率化のため、タクシー券の番号を全体の通番ではなく、冊子ごとの通番にすることを検討します。タクシー券の再発行や不正使用防止の対策について調査・検討します。					心身に障がいのある方の移動手段としての制度は必要ありますが、事務効率は高くないようです、事務の流れや方法の検討が必要だと考えます。				
備考											